

# 岩高 同窓会会報

## 第3号

発行  
岩槻高校同窓会  
〒339-0043  
さいたま市岩槻区  
城南1-3-38  
TEL.048-798-7171

### 会長あいさつ

会長 北島 徳治



岩槻高校同窓会々員の皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

また、常日ごろ同窓会の活動に對しまして、ご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。さて、会報第三号の発行に當り、同窓会長として所感を述べご挨拶とします。

会員の皆様ご承知のことと思いますが、同窓会では母校に對して支援活動を行っております。第一に「国際交流事業への支援」、第二に「教育活動への支援」、第三に「部活動への支援」と言うことです。特に部活動へ

の支援では、吹奏楽部に対しては、楽器の修繕費の助成、テニス部に対しては、照明設備の設置、野球部に対しては、バッテイングゲージの設置等を行いました。

いずれに致しましても、母校より要請があれば、出来る限り、同窓会では、支援して参りたいと思えます。

また、会員相互の情報メディアの一環として、ホームページを開設し、同窓会のIT(情報技術)化を進めて参りました。

将来的には、ホームページによる総会の案内、会報の案内、会員相互の情報交換等、リアルタイムに對應できる環境を整えて行きますので、会員の皆様、どうぞ宜しく願ひ致します。

結びに、母校の益々の発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念致しまして、あいさつに代えさせていただきます。

### 進化発展する岩高

校長 坂本 満



初めまして。校長として四月一日付で着任いたしました。どうぞよろしく願ひ申し上げます。伝統ある当校で仕事ができますことは、私にとりましてこの上ない幸せと感じております。

同窓会の皆様の御理解と御協力を得て、当校の発展のために微力ながら全力で取り組んでまいります。

さて、会報第二号でお知らせした総合選択制が完成年度を迎え、この三月の卒業生の進路実績は、県立大二名合格をはじめ四大にのべ一六七名の現役合格者を出しました。就職内定率も、一〇〇%でした。

今後も教育課程の改善に努め、学校の特色化を進めてまいります。また、昨年度には、全保護者に学校評価アンケートを実施し、生徒には個々の授業の評価もしてもらいました。継続して

実施し、学校運営や授業の改善に生かしてまいります。生徒が夢を語り、勉強と部活動に熱中する学校。明るく、清潔で、花のある学校。母校の進化発展にご注目ください。

### 同窓会に寄せる想い

前校長 柴崎 武宏



ここに同窓会誌第三号が発刊される運びになりましたことをお祝い申し上げます。

同窓と言うことにはなんとなく懐かしさを感じます。共に辛いこと、楽しいことを経験した仲間、大切な仲間とも言えるのかもしれない。

野球やサッカーなどの試合結果、高校入試の倍率、大学入試

の結果報告など、つい気になつてしまいます。

高校時代の思い出は、卒業生の先輩から来る手紙でした。あのときは、お褒めの言葉や感激した事柄について、事細かく書かれていました。また、あるときは激励の言葉や叱責の言葉が熱く書かれていました。多くの人に見守られて、今があるのだとつくづく想いました。

励ましや叱責は、後輩を思う気持ちの現れだと。多くの人の努力で岩槻高校があると。平成二〇年に創立六〇年になる岩槻高校は、多くの同窓生の関心の的でもあります。生徒諸君も、先輩たちに岩槻高校の今を胸を張って見てもらいたいと誇りをもって声高らかに言っほしい。

素晴らしい今の岩槻高校を。



# 定期総会および活動報告



## 平成二七年度同窓会総会

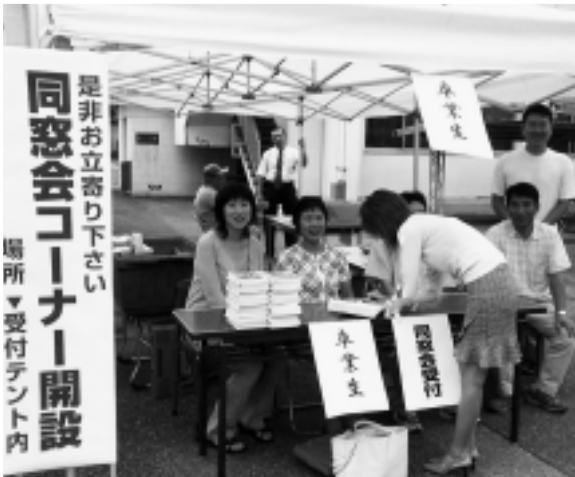
平成七年  
五月二十八日(土)

五月二十八日(土)、岩槻駅前ワッツビル三階ワッツルームBにおいて、平成一七年度岩槻高校同窓会の定期総会が開催されました。

齊藤鈴子副会長(四五年卒)による開会の辞の後、北島徳治会長(四五年卒)からの挨拶があり、次に川田尚子教頭、神谷暁美後援会会長から来賓の挨拶をいただきました。



平成17年度定期総会を終えて



文化祭同窓会コーナー

今年度はアウトドア風とし、飲み物を用意し交流を深めてもらった。



案および予算案が提案され、審議の結果、可決されました。

その他で、文化祭の同窓会のコーナーについて、もつと同窓会の存在をアピールできるような工夫が必要、この二、三年卒業生名簿がないので、入会時に何らかの働きかけができないか、また、野球部からバツティングゲージの要望が出ているので、なるべく協力していきたい、等の意見交換が行なわれました。これらの課題は、役員会で具体化していくことになりました。また、総会后、懇親会が催されました。

### 一七年度 主な活動

H一七・四・八 入学式列席 (北島会長)

四・二〇 会計監査

五・二八 定期総会

七・八 第一回役員会

(一) 文化祭参加について

今年は、正門近くにアウトドア的な「同窓会コーナー」をつくる。

(二) 会報発行の準備

関連して、会報の届かない同窓生への対策(配慮)を検討する。

(三) ホームページの更新の検討

(四) その他

一一・二 第二回役員会

(一) 一八年度定期総会

(二) 会報発行について

(三) 文化祭参加のまとめ  
テントは好評であった。いそがしかったが、いろいろな同窓生と会話が出きた。来年も続けたい。

(四) 同窓会ホームページの更新について

業者に依頼するのが良いだろう。また、ホームページから同窓会からの情報を発

信すること、会報の届かない会員へのフォローにもなる。

(五) 同窓会からの連絡先

卒業時に学年の先生の協力を得て、一人一人から連絡先を同窓会に提出してもらう。

H一八・三・一〇

同窓会入会式(北島会長)

三・一一 卒業式列席

(北島会長、齊藤・岡副会長)

四・二七 第三回役員会

(一) 定期総会について  
事業報告・事業計画など

### 同窓会 役員紹介

会長 北島 徳治 (S四五年卒)

副会長 齊藤 鈴子 (S四五年卒)

北村 隆幸 (S六二卒)

岡 祐幸 (S六二卒)

会計 名倉ふさ江 (S四五年卒)

長門 功 (S五一卒)

書記 當間 正恵 (S五七卒)

手島 秀明 (S五五卒)

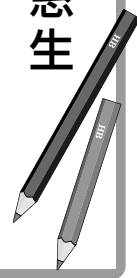
監事 新井 正博 (S四五卒)

岡野 和子 (S四五卒)

任期 平成一七年四月 一日

平成二〇年三月三十一日

# 今、輝いている同窓生



平成一八年三月一日、第四〇回卒業証書授与式。今回三〇五名が学窓を巣立ち、通算で二一三、七六二名の同窓生となる。

このコーナーでは、活躍する同窓生を紹介したい。第一回は、落語家の桂 小南治（本名山崎徳美）さんとキャスターの津島亜由子さんに登場してもらった。なお、本紹介は御本人の承諾を得て、平成一八年度岩槻高校学校案内に基づいて作成したものである。（編集者）



## 落語家

桂 小南治さん  
本名：山崎徳美さん  
(昭和55年度卒)

昇進で師匠の名を頂いて「桂 小南治」と改名した。紙切り正楽で有名な二代目「林家正楽」を父に持ち、弟は「林家二楽」である。落語会のホープとして活躍中である。平成一七年度岩槻高校の芸術鑑賞会にも出演して頂きました。

【メッセージ】  
私は有名人じゃありませんよ。好きな落語をお客様の前でしゃべって来ただけです。これからも落語をしゃべって行くことが出来ればと思っています。皆さんも何かに夢中になって下さい。

## プロフィール

落語芸術協会に所属しており、桂 小南師匠門下に入門し、前座名「桂南らく」として初高座。一九八四年二ツ目昇進で「桂南楽」と改め、一九九三年真打



## フリーキャスター

津島亜由子さん  
(平成6年度卒)

岩高」に輝いた。フットブック「深呼吸」(ワニブックス)も発売されている。

【メッセージ】  
当時新設されて間もない“国際文化コース”というユニークな発想と、歴史ある落ち着いた校風にひかれて、岩槻高校を選びました。進路相談での二者面談で「アナウンサーになりたい！」と無邪気に言い放ったのは高三の春。私の夢はこの時に始まり、今もその続きにあります。伸び伸びと過ごした岩高での三年間は、キラキラとした思い出です。

【プロフィール】  
現在、フリーキャスターとして、TBS「サンデーモーニング」テレビ朝日「鈴木タイムラグ」テレビ朝日「鈴木タイムラグ」他、多数のラジオ番組にもレギュラー出演中。これまで、テレビ朝日「やじうまワイド」の司会をはじめ、クイズ番組・競馬中継など豊かな芸歴を持つ。岩槻高校在籍中は陸上部で活躍し、三年連続「ミス

# お知らせ

## 定期総会の御案内

平成一八年度定期総会を、次のように開催しますのでご案内いたします。

### 日時

平成一八年五月二七日

(土) 午後二時

### 会場

岩槻駅東口  
コミュニケーションセンター  
四階多目的ルームC

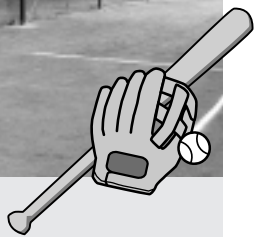
## お願い

同窓会会報が届かないという友人等がいましたら、岩槻高校内同窓会事務局までお知らせください。住所変更等で連絡名簿から洩れている可能性があります。



## バッティングゲージ新設

同窓会の援助により、野球練習用のバッティングゲージが新設された。3月29日、訪れてみると、女子マネージャーの操作するマシンからのボールに快音を発していた。これならば、16号国道にボールが飛び出すことはないだろう。





# 進路だより

過去三年間の進路状況を見ると、四年生大学合格者は着実に増加。短大は一時期減少傾向にありましたが今年度は増加に転じ、専門学校は横ばい、就職者は隔年現象になっています。昨年は「埼玉大学に二名が合格」しましたし、今年度は「埼玉県立大学に二名が合格」しました。

今年度の特徴は「理学療法士」などの「保健・医療」分野に生徒の希望が集中したことです。数年前は「福祉」分野が人気でしたし、その前は「情報や国際」に人気が集中していました。生徒の進路は、その時々々の社会情勢に大きく影響されるものようです。

## 【大学】

日本工業（一三名）  
東洋（一〇名）  
東京国際（七名）  
日本（五名）  
獨協（五名）  
立正（五名）  
東京電機（四名）  
専修（三名）  
文教（三名）  
聖徳（三名）  
東京農業（二名）  
埼玉県立（二名）  
芝浦工業（二名）等

## 【短大】

埼玉純真（八名）  
聖徳（四名）  
大妻（二名）  
女子栄養（一名）  
青山学院（一名）等

## 【専門学校】

埼玉赤十字看護  
春日部市立看護  
江戸川医療技術  
文化服装学院  
上野法律  
日本外国語等



進路指導主任 佐藤 成一

	平成一七年度卒	平成一六年度卒	平成一五年度卒
大学	一二四名	一二一名	一一一名
短大	三三名	二九名	三七名
専門	九六名	九三名	一〇一名
就職	一六名	二七名	八名
その他	三六名	三六名	五七名
卒業者数	三〇五名	三〇六名	三一四名

## 進化発展中です、岩槻高校

前教頭 川田 尚子

会報第二号でお知らせした総合選択制が完成年度を迎えました。その一期生である平成一八年三月卒業生の進路実績によれば、県立大二名合格を筆頭に四大への現役合格者数は一二〇名を越えました。また、就職内定率一〇〇%でした。総合選択制のねらい通り、生徒の夢や目標を実現させ、生徒の多様な進路希望や個性等を実現、伸長させることができたと考えます。

平成一七年六月に全保護者による学校評価アンケートを実施しました。その結果、授業改善及び生徒指導の充実が期待されていることが明確になりました。そこで、平成一八年二月に生徒による授業評価を次の目的で実施しました。教員は生徒の意見や感想を参考に、授業の内容や方法を工夫し、より良い授業を創ること。生徒は自らの授業への取組の姿勢を見直してもらおうこと。そして、生徒と教員がともに良い授業を考え、岩槻高校の一時一時間の授業の一層の充実を目指すものです。

実施しました。生徒のほぼ八割が授業に満足しているものの家庭学習が定着していないという結果がでました。今後は家庭学習の習慣化・定着化を図るとともに満足度一〇〇%をめざし、授業の充実さらに努めます。

生徒指導の充実については、平成一八年度当初より登校時の校門指導を学校全体で年間を通し、実施することになりました。遅刻指導だけでなく、あいさつをする、身だしなみを整える指導等、基本的な生活習慣を身につけること、通行マナーや交通安全等、社会のルールを守ることの指導をねらいとして実施します。

岩槻高校の教育活動を「見える」形で発信する取組は、確実に進行中です。変化する岩槻高校の今後を御期待ください。

## 編集後記

会報第三号いかがだったでしょうか。今回から活躍されている卒業生おふたりをご紹介させていただきます。こんなに有名な方がいらっしやいました。他にもまだご紹介したい方がおりますので次号をお楽しみに！

斉藤 鈴子